

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	伊藤誠二
2. 研究課題名	胃癌術後における残胃癌の発生と治療法
3. 研究の目的・方法	噴門側胃切除術後と幽門側胃切除後における残胃癌の発生頻度を明確にし、その治療法についても検討する。 研究期間：平成29年7月10日から平成32年12月31日 (遺伝子解析：行わない)
4. 研究の対象となる方	2003年1月から2010年12月までの間に胃癌に対して手術を行った胃切除患者
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名( ) 診療情報内容(術式、病理所見、胃カメラなど )

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。  
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。  
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室  
倫理審査委員会事務局  
住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号  
FAX：(052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)